

国際日本学部

教育研究上の目的

本学部は、世界の多様な文化を認識して広い視野を獲得し、日本文化について複眼的かつ広域的視野から考える力を身につけ、優れたコミュニケーション能力を併せ持つて、文化交流ができ、文化の継承・創生と多文化共生社会の発展に寄与できる人間の育成を目的とする。

教育目標

本学の教育目標及び本学部の教育研究上の目的等を踏まえ、国際日本学部では、学生が、

- (1)外国語や日本語での実践的なコミュニケーション能力を身につけること
- (2)世界の文化や歴史に関して複眼的な視点から理解する力を身につけること
- (3)日本の文化や歴史に関して複眼的な視点から理解する力を身につけることを、教育目標として定めます。

そして、これらの教育を通じて、複雑化する国際社会の情勢に柔軟に対応し、国籍や民族などが異なる人々とも尊重し合いながら共に生きていくことができる人間の育成を目指します。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本学部のカリキュラムにおいて、所定の卒業要件単位を修得した者は、次に掲げる能力や知識・教養を身につけていると判断され、学士(文学)の学位が授与されます。

1. 自立した良識ある市民としての判断力と実践力

- (1)社会の変化に対応しながら問題を発見・解決することができる能力を身につけている。
- (2)情報の収集・分析・発信の能力を身につけている。

2. 国際的感性とコミュニケーション能力

- (1)外国語もしくは日本語の運用能力を身につけている。
- (2)世界や日本の諸文化について、広く深く理解するための幅広い教養を身につけている。
- (3)文化を理解し適切に伝える文化間コミュニケーション能力を身につけている。

3. 時代の課題と社会の要請に応えた専門的知識と技能

- (1)世界の文化・言語・社会・歴史・宗教等についての幅広い教養を身につけている。
- (2)日本の文化・言語・歴史・民俗・宗教等についての幅広い教養を身につけている。
- (3)多文化共生社会に寄与できる実践的能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学部は、世界や日本の諸文化について複眼的かつ広域的視野から考える力を身につけられるように、以下のような学修・教育課程を編成し、教育・評価を行っています。

1. 教育課程の編成・実施

- (1)世界や日本の現状を知り、多様な視点から考察することができる素養を身につける学部教養科目を配置しています。
- (2)専門的知識を修得しつつ、自ら情報を収集・分析・発信する能力を育成する、少人数教育による双方向型の演習・ゼミナール科目を配置しています。
- (3)外国語もしくは日本語の知識と実践的なコミュニケーション能力を身につけるとともに、日本をはじめとする世界諸地域の文化や歴史、言語、宗教、社会についての専門的知識を修得する専門科目を配置しています。
- (4)初年次教育およびキャリア教育科目を配置するとともに、人間・社会・自然等にかかわる諸問題について広い視野と知識を獲得する教養系科目を配置しています。

2. 教育の方法と評価

- (1)外国語教育や演習・ゼミナールでは、少人数・双方向型教育を実施しています。
- (2)専門科目については、多くの実技・体験型教育を実施しています。
- (3)単位制度の実質化を図るため、成績評価の方法及び基準を明確化し、成績評価を厳格化しています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

1. 大学教育によって培う能力

- (1)外国語や日本語での実践的なコミュニケーション能力
- (2)世界の文化や歴史に関して複眼的な視点から理解する力
- (3)日本の文化や歴史に関して複眼的な視点から理解する力
- (4)これらを通して、複雑化する国際社会の情勢に柔軟に対応し、国籍や民族などが異なる人々とも尊重し合いながら共に生きていくことができる力

2. 本学部の求める入学者

- (1)世界の文化・言語・社会・歴史・宗教等の学修に関心と意欲を持っている人
- (2)日本の文化・言語・思想・歴史・民俗・宗教等の学修に関心と意欲を持っている人
- (3)基礎的な学力を有し、外国語や日本語の運用能力の向上に関心と意欲を持っている人
- (4)国際的な感性と幅広い教養を身につけたいと思っている人

3. 高校までの能力に対する評価（選抜方法）

- (1)一般入試、給費生入試、大学入学共通テスト利用入試では、国際日本学部での学修に必要な基礎学力を、高等学校での学習の達成度をもとに判断します。
- (2)学校推薦型選抜として指定校制推薦入試、総合型選抜として公募制自己推薦入試があります。指定校推薦入試では、勉学意欲に富み、指定校の学校長から推薦された人に対し、面接による選考を行います。公募制自己推薦入試では、外国語や日本語の運用能力の向上に強い関心を持ちその実績が顕著な人、世界や日本の文化や歴史に強い興味と関心がある人、また発信すべき文化・芸術等の素養がある人に対し、小論文、面接等による選考を行います。